

Istanbul Weekly vol.6-no.34

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年9月29日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**トプバシュ・イスタンブール市長が辞任、後任は、ウイサル・バシャクシェヒル区長。
エルドアン大統領、北イラク情勢等を巡りトランプ米大統領と会談。
- 経済：**トルコ政府、新中期経済計画を発表。
消費者信頼感指数、3.4%減少。
- 治安：**イスタンブールでテロを計画していた外国人戦闘員3名を逮捕。
アタテュルク国際空港でプライベートジェット機が墜落。
- 軍事：**トルコ軍がイラク国境付近における軍事演習のレベルを引上げ。
- 社会：**日本人研究者によって、ハサンケイフで1万1,500年前の遺跡が発掘。
トルコのドラマ輸出額が世界第2位。

政治

【内政】

●イラクとシリアへのトルコ軍の越境派遣許可に関する決議案、国会で承認される

22日、北イラクのクルディスタン地域の独立の賛否を問う住民投票実施を受けて前倒して実施された国家安全保障会議及び閣議の終了後、イラクとシリアへのトルコ軍の越境派遣許可に関する決議案を1年間延長する内容の案が、国会本会議で賛成多数で承認された。ジャンクリ国防相は、北イラクでの住民投票結果に対しては、あらゆる手段を講じる用意があると強調した。（9月24日付H紙21面）

●トプバシュ・イスタンブール市長が辞任、後任は、ウイサル・バシャクシェヒル区長

(1)22日、トプバシュ・イスタンブール市長は、辞任を表明した。市の建設計画を巡るトプバシュ市長と与党AKPとの対立等が辞任の背景にあると見られている。同氏は大統領や党、市民への感謝の意を述べつつ、辞任後も党の一員であり続ける旨述べた。（9月23日付H紙1面他）

(2)トプバシュ市長の辞任を受けて、28日、後任市長選出のためのイスタンブール市議会本会議が実施され、与党AKPが擁立したウイサル・バシャクシェヒル区長が選出された。（9月24日付M紙24面）

ウイサル新イスタンブール市長



（写真は、バシャクシェヒル区公式HPより）

●大学入試、今年度から新制度に

26日、サラチュ高等教育評議会(YOK)会長は、今年度から新たに適用される大学入試制度の内容を明らかにした。国家教育省による現行のYGS(3月実施の大学入試一次試験)及びLGS(6月実施の学部決定試験)は廃止され、6月に実施される新たな1回の試験により、入学者選抜を行うことを明らかにした。エルドアン大統領は、今後必要であれば、更に入試制度を改革していくと発言した。（9月27日付M紙22面）

●トルコ、北イラクの独立の賛否を問う住民投票実施を非難

25日、エルドアン大統領は、北イラクのクルディスタン地域政府(KRG)による独立の賛否を問う住民投票実施を強く批判し、KRGの石油パイプラインのバルブはトルコが持っているとして、KRGからの石油輸入を停止する可能性を示唆した。（9月26日付M紙13面）

【外交】

●エルドアン大統領、トランプ米大統領と会談

21日、国連総会出席のため訪米中のエルドアン大統領は、トランプ米大統領と会談した。両首脳は、北イラクのクルディスタン地域で実施される住民投票は、地域の安定に深刻な結果をもたらすとの認識で一致した。また、同会談では、ギュレン氏の送還やS-400防空システムについても協議された。（9月22日付H紙18面）



（写真は、9月21日付Sözcü紙インターネット版より）

●エルドアン大統領、ローハニ・イラン大統領と電話会談を実施

24 日、エルドアン大統領は、ローハニ・イラン大統領と電話会談を実施した。両首脳は、クルディスタン地域政府の住民投票は地域に混乱をもたらすと指摘し、イラクの領土の一体性の重要性を強調した。また、同会談では、10 月 4 日に予定されるエルドアン大統領のイラン訪問についても協議された。(9 月 25 日付 M 紙 14 面)

●エルドアン大統領、プーチン露大統領と相次いで会談を実施

25 日、エルドアン大統領は、プーチン露大統領と電話会談を実施し、両首脳は、イラクとシリアの領土の一体性の重要性で一致した。また、28 日、両首脳は、アンカラでも会談を実施した。エルドアン大統領は、会談後の共同会見で、ロシアとトルコは、クルディスタン地域政府の指導部が更なる深刻な間違いを犯すことを防ぐ必要があると発言した。(9 月 26 日付 M 紙 13 面及び 9 月 29 日付 H 紙 20 面)



(写真は、9 月 29 日付 M 紙インターネット版より)

経済

【マクロ経済】

●消費者信頼感指数、3.4%減少

21 日、トルコ統計庁(TUIK)は、9 月の消費者信頼感指数は、8 月の 71.1 から 3.4%減の 68.7 となったと発表した。また、トルコの一般経済状況予測指数は、対前月比 3.3%低下した。一方で、9 月の失業予測指数は対前月比 2.7%改善し、70.5%となった。(9 月 22 日付 HDN 紙 10 面)

●FRB の年末までの金利引上げ予定の発表後、トルコ・リラは対米ドル暴落

20 日、米国連邦準備制度理事会(FRB)が、年末までに金利引上げを行うことを示唆した直後、トルコ・リラは、他の通貨と同様、対米ドルで暴落した。1 米ドルは、3.52 トルコ・リラを記録したが、21 日の早い段階で 3.51 トルコ・リラにまで回復した。(9 月 22 日付 HDN 紙 10 面)

●トルコ政府、新中期経済計画を発表

27 日、シムシェッキ副首相、アーパル財務相及びエルヴァン開発相は、2018 年から 2020 年までの期間の、成長、雇用、インフレ及び 1 人当たり国民所得に関する目標を含む新中期経済計画を発表した。シムシェッキ副首相は、中期経済期間中の経済成長率は 5.5%を維持、1 人当たり国民所得は同期間末までに 1 万 3,000 ドルに達し、失業率は、2018 年に 10.5%、2019 年に 9.9%、2019 年に 9.6%となるとの見通しを示した。(9 月 28 日付 HDN 紙 10 面)



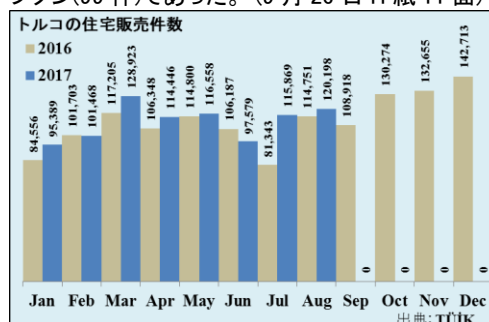
(写真は、9 月 27 日付 HDN 紙インターネット版より)

●アンカラ、トルコ第 1 位の可処分所得

26 日、トルコ統計庁(TUIK)が発表した「収入及び生活環境調査地域別結果(2016)」によると、昨年、世帯の可処分所得平均額が最も多かったのはアンカラの 2 万 6,486 トルコ・リラ。一方で、最も低かったのはマルディン、バトマン、シュルナク、シールトといった南東部の県で、8,679 トルコ・リラだった。(9 月 26 日付 HDN 紙 11 面)

●8 月の住宅販売件数、4.7%増

25 日のトルコ統計庁(TUIK)の発表によると、8 月の住宅用不動産の販売件数は対前年同月比 4.7%増の 12 万 198 件。イスタンブール建設会社協会(INDER)のドゥルバカユム会長は、9 月末までの減税措置が功を奏したと評価。最多となったイスタンブールでは 1 万 8,696 件が販売された。また、同月中の外国人への販売件数は 1,684 件で、同 11.4%増。県別ではイスタンブールが最多で 524 件。これに続いたのは、アンタルヤ(376 件)、ヤロヴァ(103 件)、アイドゥン(101 件)、ブルサ(100 件)、トラブゾン(99 件)であった。(9 月 26 日 H 紙 11 面)



(グラフは、TUIK のデータに基づき当館作成)

【企業等の動き】

●国連、トウルクセル社の CEO を「持続可能な開発目標のパイオニアの 10 人」に指名

国連のグローバル・コンパクト・プラットフォームは、22 日に発表されたトウルクセル社のシリア難民向けのモバイルアプリ「Hello Hope」に関し、同社のカーン・テルズィオール CEO を「持続可能な開発目標のパイオニア 10 人」に指名した。同 CEO は、このアプリでトルコに住む 300 万人以上のシリア難民が直面している通信面での脆弱性の解消を目指していると語った。(9 月 25 日付 HDN 紙 10 面)

●DEIK 新会長は、MUSIAD の前会長オルパック氏

22 日、トルコ海外経済評議会(DEIK)のヴァルダン会長が一身上の理由で辞任したことを受けて、新会長にオルパック氏が任命された。オルパック氏は、独立産業家・実業家協会(MUSIAD)の前会長で DEIK では副会長等の要職に就いてきた。ゼイベキジ経済相は、ヴァルダン氏の 3 年間の業績に敬意を表し、多くの NGO や組織で重要な任務を果たしてきたオルパック新会長の成功を望む旨述べた。(9 月 25 日付 HDN 紙 11 面)

【クルディスタン地域政府の独立国民投票関連】

●ゼイベキジ経済相: KRG との「ビジネスは通常どおり」であるべき

26 日、ゼイベキジ経済相は、北イラクのクルディスタン地域政府(KRG)の独立を問う国民投票によってトルコと KRG との経済関係は影響を受けるべきではないと発言。また、トルコのような地域のハブを目指す国が禁輸措置を取り沙汰することは危うく、閣議でも KRG へのいかなる経済制裁も決定されていないと述べた。(9 月 27 日付 HDN 紙 1 面及び 10 面)

●多くの国際航空会社がクルディスタン地域の空港への国際線を一時停止

26 日、イラクのアバーディ首相は、エルビル及びスレイマニエ国際空港の所管をクルディスタン地域政府(KRG)からイラク中央政府に譲渡させるため、29 日からクルディスタン地域を往來する国際線の直行便を一時停止することを KRG に通知した。多くの国際航空会社が同地域への飛行を停止すると発表した一方で、ターキッシュ・エアラインズ社は、イラク当局から同社への正式な要請がないことを理由に、今のところ同地域への飛行を継続すると発表した。(9 月 28 日付 HDN 紙 11 面)

【エネルギー関連】

●ガスプロム、ボタシュと「ターキッシュ・ストリーム」に関わる合併企業設立へ

25 日、ロシアのガスプロム社は、トルコのボタシュ社との「ターキッシュ・ストリーム」天然ガスパイプライン計画の陸上部分の建設を担う合併企業の設立を承認した。同計画は、ロシア領の黒海沿岸のアナパから、黒海の海底を通過し、900km を経てトラキア地方に接続する予定。(9 月 26 日付 HDN 紙 11 面)

●トルコ・ブルガリア・ガス相互連結プロジェクト

25 日、駐トルコ・ブルガリア大使は、トルコ・ブルガリア・ガス相互連結プロジェクト(ITB)を加速させるため、両国のブルガルスタンガス社とボタシュ社が喫緊に会合を行う予定であると述べた。両国の間で 2014 年 5 月に ITB に関する覚書が締結されていた。同大使は、同プロジェクトがブルガリア及び南東ヨーロッパ諸国への天然ガスの供給及び輸送ルートに係る安全保障及び多様化の鍵となる、とその重要性を強調。(9 月 27 日付 HDN 紙 10 面)

●トルコの FSRU 第 2 次プロジェクト、11 月に稼働予定

エネルギー天然資源省は、エネルギーの安定的な確保のため、FSRU(当館注:液化天然ガス(LNG)を貯蔵する船舶型の洋上基地。液体の LNG を船上で気体に戻して、パイプラインで消費地へ送る。)プロジェクトに取り組んでいる。国営のボタシュ社は、商船三井(Mitsui OSK Lines)との協議後、FSRU 船のリース契約を締結した。プロジェクトは 11 月に稼働する予定。(9 月 28 日付 H 紙 12 面)

【観光関連】

●クルーズ船観光客 1 人当たり 30 ドルの補助金を供出

26 日付け官報によると、トルコ政府は、2016 年に落ち込んだクルーズ船による観光客を呼び戻すため、750 人以上の乗客数を有するクルーズ船に対し、乗客 1 人当たり 30 ドルの補助金が政府から支払われることを閣議決定した。同制度の適用のために、ツアー事業者は乗客名簿を文化観光省に提出する必要がある。2015 年は 1,456 隻のクルーズ船により 180 万人の観光客がトルコを訪問・停泊したが、2016 年には 590 隻、62 万 8 千人と激減していた。(9 月 27 日付 HDN 紙 11 面)

【航空】

●ターキッシュ・エアラインズ、5つ星評価獲得

26 日、米国で行われた航空旅客体験協会(APEX)主催の「EXPO2017」において、ターキッシュ・エアラインズ社は「5つ星グローバル・エアラインズ」として表彰された。8 月、同社は過去最高の 84.3%の座席稼働率を達成し、対前年同月比 14.3%増の 740 万人の旅客数を記録していた。(9 月 27 日付 HDN 紙 11 面)

治安

【ISIL 関係】

●2015 年にアンカラで発生した爆弾テロ事件の第 5 回公判を開廷

25 日、2015 年にアンカラで 102 名が死亡した ISIL による爆弾テロ事件の被告 36 名に対する第 5 回公判が開かれ、匿名の証言により、攻撃命令者及び爆弾製造責任者の氏名が明かされ、また、攻撃実行者らがシリアのテル・アブヤドで訓練を受けていたことが明らかとなった。(9 月 25 日付 HDN インターネット版)



(写真は、9 月 25 日付 HDN インターネット版より)

●イスタンブールでテロを計画していた外国人戦闘員 3 名を逮捕

22 日、イスタンブールにおいて実施されたオペレーションにより、ISIL の 25 名の外国人戦闘員が拘束され、そのうち 22 名は国外退去されたが、残りの 3 名(インドネシア人 2 名及びシリア人 1 名)については、テロ攻撃を計画していたことが判明したため逮捕された。トルコ当局が暗号化されたデジタル資料を押収して解析したところ、2013 年にボストン・マラソンを標的としたテロで使用された爆弾の製造方法等が発見された。(9 月 27 日付 HDN インターネット版)

【PKK 関係】

●ハッキヤリ県で PKK の攻撃により兵士 1 名、市民 1 名が死亡

23 日、ハッキヤリ県において、PKK の迫撃砲により、兵士 1 名と市民 1 名が死亡し、兵士 2 名が負傷する事件が発生。これに対し、大規模なオペレーションが実施されている。(9 月 23 日付 HDN インターネット版)

【FETO 関係】

●イスタンブール検察庁がバイロック使用の元軍人 43 名に勾留状を発布

24 日、警察は、イスタンブール検察庁が FETO の通信アプリ「バイロック」を使用していた元トルコ軍人 43 名に対する勾留状を発布したことを受け、アンカラとイスタンブールにおいてオペレーションを実施し、19 名を拘束した。(9 月 22 日付 HDN インターネット版)



(写真は、9 月 22 日付 HDN インターネット版より)

●民事刑事最高裁:「バイロック」のインストールのみで FETO メンバーの証拠になるとの見解

26 日、トルコ民事刑事最高裁判所は、FETO メンバーが使用していたメッセージアプリ「バイロック」を携帯電話にインストール

したことで、FETO のメンバーであるという十分な証拠を形成し、有罪になるとの見解を示した。(9月26日付 HDN インターネット版)

【その他】

●イスタンブールで反シリア政府活動家が殺害

21日、シリアの反政府活動家であるオロウバ・バラカット氏と同氏の娘がイスタンブール市ウスキュダル区の自宅において、殺害された状態で発見された。警察の捜査により、2名は、2、3日前に刺殺されており、首部には絞められた痕も認められた。バラカットは、シリア国内の刑務所における拷問を暴露して有名となり、シリア内戦勃発後、英国、サウジアラビアを経てイスタンブールに辿り着き、シリアの反体制メディア「オリエントニュース」の編集長を務めていた。(9月22日付 HDN インターネット版)

●アタテュルク国際空港でプライベートジェット機が墜落

21日、アタテュルク国際空港において、プライベートジェット機が緊急着陸する際に墜落・炎上し、乗員4名(パイロット2名、乗務員1名、搭乗者1名)が負傷した。同機は、北キプロスに向かうためアタテュルク国際空港から離陸したが、技術的問題のために引き返していた。他のフライトに遅延等の影響が生じたが、短時間で復旧した。

●トルコ・シリア国境の壁は9月末までに完成予定

22日、トルコ当局は、トルコ・シリア国境沿いに建設中のコンクリート壁について、既に731キロメートルが完成しており、残りの97キロメートルについても9月末までに完成する予定であると述べた。国境警備には、無人・有人の監視塔、熱感知カメラ、陸上監視レーダー、遠隔制御兵器システム等が導入される。(9月22日付 HDN インターネット版)



(写真は、9月22日付 HDN インターネット版より)

●沿岸警備隊がアイドゥン県及びクルクラーレリ県で移民128名を拘束

24日、沿岸警備隊は、アイドゥン県クシャダス市からボートで対岸のギリシャ側の島へ向かっていた移民64名(シリア人39名、アフガニスタン人18名、ソマリア人6名及びレバノン人1名)を拘束した。また、クルクラーレリ県においても、ブルガリアを目指していたアフガニスタン人、シリア人、パキスタン人等の移民64名を拘束した。(9月22日付 HDN インターネット版)



(写真は、9月22日付 HDN インターネット版より)

軍事

●トルコ軍がイラク国境付近における軍事演習のレベルを引上げ

北イラクにおける住民投票実施も控え、23日、イラク国境付近

で実施されている軍事演習のレベルが「第2段階」に引き上げられた。同演習は、シュルナク県で行われている。(9月23日付 HDN インターネット版)



(写真は、9月23日付 HDN インターネット版より)

社会

●ライフガード、4,800人の命を救う

20日、イスタンブール市は今夏、ライフガードにより海で救出された市民の数が4,800人に上ったことを発表した。また、定期的に水質検査も行い、海岸線での清掃に取り組んだと強調した。マルマラ海はかつて、生活排水の流入によって深刻な汚染に直面していたが、現在は排水浄化プラントの運用で水質が改善されてきている。(9月22日付 HDN 紙2面他)



(写真は、9月22日付 HDN 紙インターネット版より)

●日本人研究者によって、ハサンケイフで1万1,500年前の遺跡が発掘

バトマン県南部のハサンケイフで1万1,500年前の遺跡が新たに発掘された。12人の日本人考古学者が3か月前から発掘作業にあたり、発掘物から、遺跡が1万1,500年前のものであることが分かった。筑波大学の三宅氏は「ピーナッツ、アーモンド類などの採集跡はあるが、穀物や小麦が見つからなかったことは、この遺跡が、人類が農耕生活に移行する前の時代のものであることを示し、大変興味深い。」と語った。発掘は12月15日まで続けられる予定。(9月26日付 HDN 紙4面他)

●イルカ、警察官に助けられる

イスタンブール市アヴジュラル区の警察官が、アンバルルの海岸で網に絡まり浜に打ち上げられているイルカを発見した。警察官は直ちに救助に当たり、イルカは無事に沖合に戻された。(9月26日付 H 紙4面他)

●ウズンギョルに人造湖の建設

24日、エルオール森林・水相は、増加するアラブ人観光客を念頭にトラブゾン県のウズンギョルに3つの人造湖を建設すると発表した。ウズンギョルは標高1,250メートルに位置するトレッキングやバードウォッチングが楽しめる観光地であり、既に今年1月から5月までに2万2千人以上のアラブ人観光客が訪れている。トラブゾン商工会議所のハジュサーヒルオール氏は、この人造湖建設によってアラブ人観光客の滞在期間が延び、経済の活性化に繋がると期待した。(9月27日付 HDN 紙2面他)

●「偶然発見された遺跡」博物館が注目を集める

黒海沿いのアマスラでリニューアルオープンした博物館が、地

元の人々や外国人観光客の注目を集めている。3年間の修復作業を経た博物館には、4つの展示ホールがあり、5,000年前の遺跡で偶然発見された様々な彫刻や武器、金・銅製の装飾品などが展示されている。(9月28日付 HDN 紙 7 面他)



(写真は 9 月 28 日付 HDN 紙インターネット版より)

●トルコのドラマ輸出額が世界第 2 位

ギュルソイ・ラジオ・テレビ放送協会会長は、今後トルコ製ドラマの輸出先として特に中国、日本、インドの 3 か国に力を入れる考えであると明らかにした。現在のドラマ輸出額 2 億 5 千万ドルを 2023 年までに 10 億ドルに増加させたい考え。同会長によると、現在のドラマ輸出量が最も多い国はアメリカで、トルコが 2 位で続く。(9 月 28 日付 M 紙インターネット版)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事対応総局	OSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党(現与党)	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党(クルド族党)	PYD	シリア民主主義連合会党
BOT	建設・通関・輸送方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党(最大野党)	RTÜK	ラジオ・テレビ審議機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党(戦線)	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DİSK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCCD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TCHB	トルコ通商銀行
DYP	正義党	TESK	トルコ職工連合会
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPOK	エネルギー市場監督庁	TKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主主義党(クルド族党)	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築家連合会
HSYK	裁判官・検事長等委員会	TOKİ	トルコ国営住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	飲水装置
İHH	人権・自由・人運支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSİ	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TUBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İSİD	イラク・レバントのイスラム国(アルカイダ系)	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール職工会議所	TUPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟(PKK系)	TUSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YOK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党(野党)	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞	英字新聞	通信社
Akşam	A Economist	EC Anadolu News Agency
Cumhuriyet	C International New York Times	INYT Agence France Presse
Habertürk	HT Hürriyet Daily News	HDN Çhan News Agency
Hürriyet	H Today's Zaman	TZ Doğan News Agency
Milliyet	M	İhlas News Agency
Posta	P	Interpress
Radikal	R	
Sabah	S	
Taraf	T	
Vatan	V	
Zaman	Z	

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.9.28 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	6件	0件	0件	0件	11件	0件	0件

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。